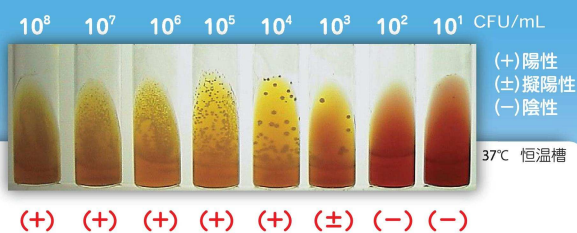


Candida Detector®

カンジダディテクター

操作が簡単 で **室温培養** ができます
しかも 保険請求可能

C.albicansの菌数及び色変化(赤→黄)判定
 (培地のpHの変化に対応して赤色→黄色に変化します)



37℃恒温槽で培養することで、
 2日間で判定することができます。



(室温培養の場合)
 夏季 / 3~5日間
 冬季 / 5~7日間

① 抗真菌薬処方の前に
 検査を行いましょ

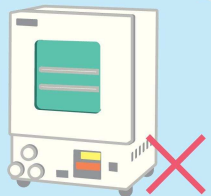


② 訪問診療の現場で活躍



日常臨床の
 口腔ケアの評価方法

③ 設備投資が不要



④ 患者様への説明が簡単



カンジダディテクター

- 〈内容〉
- 寒天培地 10本
 - 滅菌綿棒 10本
 - ネームラベル 10枚
 - カンジダ菌検査結果シート 10枚
 - 使用説明書 (判定見本)

入ってます

カンジダ菌検査結果

施設名: _____ 検査日: 年 月 日 時
 患者名: _____ 男・女 _____ 歳

菌数と色変化の目安	10 ⁸	10 ⁷	10 ⁶	10 ⁵	10 ⁴	10 ³	10 ²	10 ¹	CFU/mL
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(±)	(-)	(-)	

37℃ 恒温槽 48 時間

あなたのお口のなかの細菌のレベルは () でした。

() 10⁸ ~ 10⁴ 入れ歯も口腔の中もキレイな状態です。適切な口腔ケアを続けて下さい。

() 10³ ~ 10² お口中が少し汚れています。歯磨き・入れ歯の清掃をしっかりとして下さい。

() 10¹ ~ 10⁰ 細菌がたくさんいます。炎症や感染性肺炎の危険性があります。歯科医師・衛生士さんから指導を受けて下さい。

要冷蔵

カンジダ簡易検出培地

要冷蔵

使用説明書

■ 特 長

本カンジダ培地は、日常臨床の口腔ケアの評価方法の一つとして開発された選択培地です。

本培地はサブロー培地を基本とし、採取された検体に混在する細菌類が発育せず、カンジダ菌（真菌）のみを選択的に検出するように発育抑制剤が添加された培地で、且つ、特殊指示薬を含有しているため、コロニー数による判定に限らず、短時間で色変化により容易にカンジダ菌を検出判定することができます。

また、室温培養の場合は、コロニー数による判定が可能です。

■ 用 途 カンジダ菌の検出

■ 操作方法

1. 付属の滅菌綿棒で被験者の舌、口腔粘膜、義歯床粘膜面などを2～3回拭い、検体を採取します。
2. 綿棒で採取した検体を、バイアル瓶の寒天培地表面斜面を地面と平行にして蛇行を描くように直接軽く塗りつけます。

注) 乾燥した口腔内より検体を採取する場合は、付属の滅菌綿棒を滅菌生理食塩水などで十分濡らしてから行うと検体の採取が容易になります。

3. 検体採取後は蓋を閉め、バイアル瓶を直立させた状態に保ち、37℃の恒温槽、または直射日光を避けた室内(38℃以下)で立てたまま培養します。

注) 恒温槽の温度や室温培養の際の温度が39℃以上にならないようにしてください。

4. 付属の判定見本と比較して判定します。

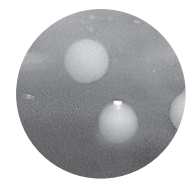
室温培養の場合では夏季は3～5日間、冬季はなるべく暖かい場所に5～7日間放置してコロニー数の菌数見本で判定します。

色判定とコロニー数による判定を同時に行う場合は恒温槽を使用し、48時間(±3時間)培養後に判定します。

5. 廃棄方法は、医療用産業廃棄物として処理してください。

■ 判 定 コロニー数および色変化と判定

C.albicansの菌数(CFU/mL)	色 調	判 定
約10 ² 以下	赤 色	陰 性(-)
約10 ³	橙赤色	擬陽性(±)
約10 ⁴ 以上	黄 色	陽 性(+)



カンジダコロニー

- カンジダ菌が検出されれば、菌糸がなく、融合しないきれいな丸い艶のあるクリーム色及び黒褐色・灰黒色がかかったクリーム色の集落が発生します。
ただし、カンジダ属の菌種同定には向きません。
- 経時的に色調は変化しますので、室温培養の場合はコロニー数のみで判定してください。
- アオカビやコウジカビなどの糸状菌も本培地に発生することがありますが、この場合はフェルト状や綿状の菌糸がカビのような集落を作るので、容易に鑑別できます。
- 細菌の場合は、きれいな丸いコロニーを作らずに、ベチャーツとしたものが全体に広がっていきます。
区別方法：培養後バイアル瓶のふたを少しゆるめると、カンジダ菌の場合は炭酸ガスの発生があるので、シューというガスがもれる音がします。
- 緑膿菌等により、色調が紫色に変色することがあります。

■ 保管方法 冷蔵庫保存 ただし、凍結しないようにしてください。